

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

September / 13 / 2019 # 78

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『初・台湾！』

[2] Pepeのひとりごと

『アンサンブルって楽しい！』

[3] おすすめ動画

『Ralph Sauer Plays Serocki Trombone Concerto』

『Tubafest 2015 - Spanish Tuba Quartet - Pantomime (Philip Sparke)』

[4] 演奏のヒント！

『いろいろなテクニック、いつやり始める？』

[5] 編集後記

[1] 旬な話題、気になる話題

『初・台湾！』

8月の後半の約1週間、台湾へ行ってきました。

人生初の台湾！

多くの方は台北へ行くのだろうけど、僕は高雄へ。

しかも、目的地は高雄ではなく、そこから車で約4時間ほど移動をして行った台東市。:)

そこで、1週間合宿のような形でマスタークラスとプライベート・レッスンをやらせていただきました。

もう何年も前からの友人であるTさんからの誘いだったのですが、Tubaの講師にはボルティモア交響楽団Tuba奏者のAubrey (Foard氏) が呼ばれていて、ともにとっても濃くも楽しい時間を過ごすことができました。

生徒たちは、20歳前後の若い子が中心になっていました。みんな、専門的に音楽演奏を学んでいる子たちなのですが、みんなの熱心さにはとても感心しました。そういう「ハングリー精神」はとても重要だと思います。

日本は環境が整っているからか、そういう音楽の勉強をする環境の中にいるだけで頑張っている、精一杯努力している、と錯覚してしまうところがあるのでしょうか。まだまだ貪欲にガツガツといろいろな情報を欲しがり、知らないことを知りたがってもらいたいと強く感じています。

[2] Pepeのひとりごと

『アンサンブルって楽しい！』

9月頭に、プライベートで東京と静岡に行きました。そのときに、東京在住でアマチュアでEuphoniumを吹いている弟のところへ、妻（アマチュアのホルン吹き）と3人でアンサンブルをして楽しみました。

前から計画していて、ホルン3重奏曲を読み替えしやすいように書き換えた楽譜を準備していてそれをやったのですが、と〜〜っても楽しい時間となりました！

やっぱり、1人で吹くよりも仲間と一緒に楽しく音楽をするほうがいいですね！

アンサンブルって、知識、技術ではなく、感性なのだなあ、と改めて感じることもありました。

これからも、年に数回のペースでこういう機会を持ちたいなあ。 :)

[3] おすすめ動画

『Ralph Sauer Plays Serocki Trombone Concerto』

https://www.youtube.com/watch?v=_dMqXV70t1s&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=2&t=0s

今月の1つ目の動画は、Tromboneを吹いている人ならきっと一度は聴いたこと（吹いたことある人はあまり多くないだろうけど。笑）のある曲、K.Serocki作曲のConcertoの録音です。

演奏者は、元LAフィル首席TromboneのRalph Sauer氏。

なんと、1980年のライブ録音だそうです！

圧巻の素晴らしい演奏で、度肝を抜かれました。；)

『Tubafest 2015 - Spanish Tuba Quartet - Pantomime (Philip Sparke)』

<https://www.youtube.com/watch?v=aGYDTzpzYz0&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=4&t=0s>

2つ目の動画は、有名なEuphoniumのソロ曲、Pantomime（P.Sparke作曲）の、Tuba(Euphonium & Tuba) Quartet伴奏版です！

これ、僕も知らなくてこの動画を見て（演奏者はみんな友達なんです）、初めて知ったのですが、機会があればこの形でもやってみたいですね！；)

[4] 演奏のヒント！

『いろいろなテクニック、いつやり始める？』

先月の台湾でのマスタークラスでも話題にしたことなのですが、みなさんは、いろいろな奏法についてバランスよく練習できていますか？

「いろいろな奏法」というのは、俗に言われる「現代奏法」のことを指しているのですが、具体的に例を上げると、

- ・フラッター・タンギング
- ・重音
- ・循環呼吸

などのことです。

これらの奏法は、演奏する曲の中で出てくると（することが必要になってくると）練習を始める、やり方を探るといったケースが多いように感じるのですが、いかがでしょう？

経験のある人にはわかると思いますが、これだと遅いことが多いと思います。ぜひ、まだ使う機会がないときからこれらの奏法の練習はしておいてください。

あ、アマチュアの方はフラッター・タンギングくらいでいいと思いますよ。 ;)

でも、専門で勉強をしている人たちは、ぜひ今からこれらの奏法の練習を始めましょう。

例えば重音奏法（音を出しながら同時に声を出す奏法）は、曲の中で出てくるまでに、音と声を同時に出すことはもちろん、ある程度の音程のコントロールまでできるようにしておいたほうがいいですよ。

これは「コツ」をつかむ必要があると思います。できるようになるまでがすぐの人と、かなり時間がかかる人とがいます。

曲の中ででてきてからでは間に合わないこともあるので、ぜひ今からやり始めましょう！ :D

編集後記

やっと少しずつ秋らしくなってきたなあ、と感じる時間帯ができてきましたが、もう9月も半ばに入ろうとしています。
なかなか日中に秋を感じるまでにはいきませんね・・・。

いよいよ来月となりました！！

10月26日（土）、神戸芸術センター・大ホールにて「NSO (Non Strings Orchestra) 神戸公演 2019」があります（14時開演）。

第1回目から参加させていただいていて、2年前の東京公演のみ日程が合わず僕は参加できなかったのですが、今回で第6回目の公演となります。僕自身5回目の参加となる今回は、なんと、ソリストを務めさせていただきます！ :D

Tromboneで、F.David作曲の「Concertino」を演奏します！
そのほか、オーケストラの中でも演奏します（Rossini作曲の「どろぼうかささぎ序曲」とTchaikovsky作曲の「交響曲第5番」）。

チケットは僕が持っていますので、興味のある方は、ぜひメールで連絡ください。

詳細は、オフィシャルサイトのコンサート情報で確認を！ ;)

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com

©阿部竜之介 『Pepeの視点』
のバックナンバー、配信停止はこちら
<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>